



着信 ACL

アクセスコントロールリスト (ACL) では、Cisco Unified Presence へアクセスできるホストおよびドメインを制御するパターンを設定できます。

着信 ACL エントリの検索

ネットワークに ACL エントリが複数存在する場合があるため、Cisco Unified Presence では、具体的な検索条件に基づいて特定の着信 ACL エントリを検索することができます。特定の ACL エントリを検索するには、次の手順を実行します。



(注)

ブラウザセッションでの作業中、クライアント マシンの cookie により、検索/一覧表示の設定が保存されます。他のメニュー項目に移動してからこのメニューに戻るか、ブラウザを閉じてから新しいブラウザ ウィンドウを開くと、検索の設定を変更するまで、Cisco Unified Presence の検索の設定がシステムで維持されます。

手順

ステップ 1 [Cisco Unified Presence] > [プロキシサーバ] > [着信 ACL] の順に選択します。

[許可されている着信ホストの検索と一覧表示 (Find and List Allowed Incoming Hosts)] ウィンドウが表示されます。アクティブ (優先) クエリーのレコードもウィンドウに表示される場合があります。

ステップ 2 データベースのすべてのレコードを検索するには、ダイアログボックスが空であることを確認して、[ステップ 3](#)に進みます。

レコードをフィルタリングするかまたは検索します。

- ドロップダウン リスト ボックスから検索パターンを選択します。
- 必要に応じて適切な検索テキストを指定します。



(注)

検索条件を追加するには、[+] ボタンをクリックします。検索条件を追加すると、指定したすべての検索条件に一致するレコードが検索されます。検索条件を削除するには、[-] ボタンをクリックして最後に追加した検索条件を削除するか、[フィルタのクリア] ボタンをクリックして追加したすべての検索条件を削除します。

ステップ 3 [検索] をクリックします。

一致するすべてのレコードが表示されます。[ページあたりの行数] ドロップダウン リストボックスで異なる値を選択すると、各ウィンドウに表示する項目の数を変更できます。



(注) 対象のレコードの隣にあるチェックボックスをオンにしてから [選択項目の削除] をクリックすると、複数のレコードをデータベースから削除できます。[すべてを選択] をクリックしてから [選択項目の削除] をクリックすると、この選択で設定可能なすべてのレコードを削除できます。

ステップ 4 表示されるレコードのリストから、表示対象となるレコードのリンクをクリックします。



(注) ソート順序を逆にするには、必要に応じて、リストのヘッダーにある上向きまたは下向きの矢印をクリックします。

選択した項目がウィンドウに表示されます。

追加情報

P.14-4 の「[関連項目](#)」を参照してください。

着信 ACL の設定

この項では、Cisco Unified Presence データベースで着信 ACL 情報を追加または更新する方法について説明します。

手順

ステップ 1 次のいずれかのタスクを実行します。

- 着信 ACL エントリを追加するには、[Cisco Unified Presence] > [プロキシサーバ] > [着信 ACL] の順に選択し、[新規追加] をクリックします。
- 着信 ACL エントリを更新するには、P.14-1 の「着信 ACL エントリの検索」の手順に従い ACL エントリを検索します。

[プロキシアクセスコントロールリストの設定 (Proxy Access Control List Configuration)] ウィンドウが表示されます。

ステップ 2 表 14-1 の説明に従って適切な設定を入力します。

ステップ 3 データを保存するには、ウィンドウの左上隅のツールバーに表示される [保存] アイコンをクリックします (または、ウィンドウの下部に表示される [保存] ボタンをクリックします)。

追加情報

P.14-4 の「関連項目」を参照してください。

着信 ACL の設定値

表 14-1 で、着信 ACL の設定値について説明します。関連する手順については、P.14-4 の「関連項目」を参照してください。

表 14-1 着信 ACL の設定値

フィールド	説明
説明 (Description)	このパラメータは、ACL エントリの一般的な説明を指定します。
アドレス パターン (Address Pattern)	このパラメータは、着信ホストまたはドメインのアドレスやパターンを、IP アドレスまたは完全修飾ドメイン名のいずれかで指定します。

着信 ACL エントリの削除

この項では、着信 ACL エントリの削除方法について説明します。

手順

-
- ステップ 1** P.14-1 の「[着信 ACL エントリの検索](#)」の手順に従い ACL エントリを検索します。
- ステップ 2** 一致するレコードのリストから、削除する ACL エントリを選択します。
- ステップ 3** ACL エントリを削除するには、ウィンドウの左上隅のツールバーに表示される **[選択項目の削除]** アイコンをクリックします（または、ウィンドウの下部に表示される **[選択項目の削除]** ボタンをクリックします）。

ACL エントリが使用中でない場合は、Cisco Unified Presence により削除されます。ACL エントリが使用中の場合は、メッセージが表示されます。

追加情報

P.14-4 の「[関連項目](#)」を参照してください。

関連項目

- [着信 ACL エントリの検索 \(P.14-1\)](#)
- [着信 ACL の設定 \(P.14-3\)](#)
- [着信 ACL エントリの削除 \(P.14-4\)](#)